

平成 29 年 11 月 17 日
真砂白百合幼稚園

作品展

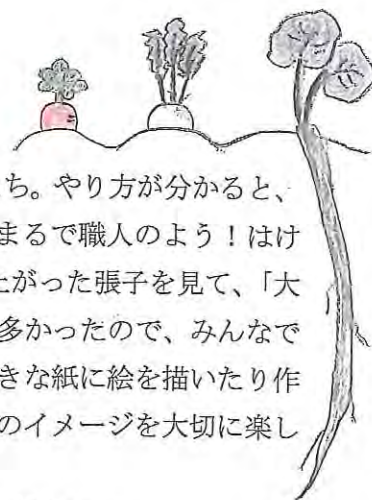
今年は春に年長さんのところに風船の国から「ふーこ」が遊びに来てくれました。そこからふーこと手紙のやりとりが始まり、いつもそばで見守ってくれているふーこのことが大好きになった子どもたち。「風船で作ったふーこの世界を作りたい!」と声があがり、今年のお作品展のテーマが「風船で作る世界」に決まりました。しかしそのままではしぼんでしまうということで、風船を“張り子”にして表現することになりました。

今年は例年と趣が変わり“張り子”をいろいろな物に見立て、イメージを膨らませていきました。ダンボールなども脇役を担ってくれますが、“張り子”を中心にどんな世界が繰り広げられるか、どうぞご覧ください。

年少組

年長さんから教えてもらい“張り子”の活動を進めてきた子どもたち。やり方が分かると、率先して取り組みどんどん上手になりました。その手際の良さはまるで職人のよう! はけを使わず素手で丁寧に貼り、とても綺麗に仕上げています。出来上がった張り子を見て、「大根みたい!」「りんごみたい!」と野菜や果物をイメージした子が多かったのも、みんなで畑や木を作ることになりました。段ボールを絵の具で塗ったり、大きな紙に絵を描いたり作品展の活動を伸び伸びと取り組んでいます。引き続き、子どもたちのイメージを大切に楽しんで取り組めるよう援助していこうと思います。

一体、畑や木には何が実っているのか・・・? 楽しみにいらしてください!!



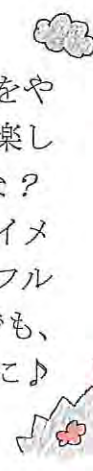
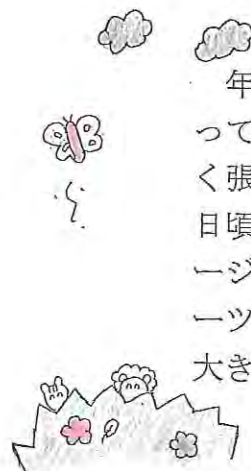
さくら組

年長さんが『風船の世界を作しましょう』と伝えに来てくれたときに、年長さんに具体的な話も聞いてみると「張り子っていうもので作るよ!」と教えてくれました。クラスで張り子を実際にひとつ作って「どうなるかな?」と問いかけると、「バーン! と割れちゃう」「小さくなる!」「固くなる!」と様々な意見があがりました。出来上がった張り子を見て、話し合いを進めていくと予想以上に子どもたちから自分のイメージや作りたいものを伝える事ができました。今年は張り子を使い、自分の作りたい作品をひとつずつ作ることに決まりました。友だちと見せ合い、アイデアを伝え合ったり、材料をこだわりながら選び、制作しています。どうぞお楽しみにしていってください!!



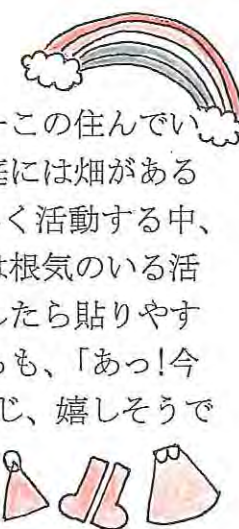
すみれ組

年長さんがテーマを伝えに来てくれたから、すぐに“教えてくれた張り子をやってみよう!”と意見が出たので、さっそくグループの友だちと協力をして楽しく張り子を作りました。出来上がった張り子を見ると…さあ、何になるかな? 日頃から制作が大好きな子どもたちから、たくさんのアイデアが上がり、イメージはどんどん膨らみました。ライオンやウサギなどの動物や、自分の顔、フルーツなど自分の作りたいものをそれぞれが工夫して作りました。同じ動物でも、大きさや材料がさまざまです。どんな作品が出来上がっているか、お楽しみに♪



ばら組

風船の世界で、何を作りたいか話し合いをするとすぐに「ふーこの住んでいるところがいい!」と決まり、「ふーこの家には庭があるよ」「庭には畑があるんじゃない?」とどんどんイメージが膨らんできました。楽しく活動する中、風船に小さな紙を何枚も何枚も糊で貼り“はりこ”をすることは根気のいる活動でした。が、さすが年長さん! 友だち同士手伝ったり、どうしたら貼りやすいか教え合う姿が見られました。集中して制作に取り組みながらも、「あっ! 今ふーこがいたよ。」とずっと見守ってくれている大きな存在を感じ、嬉しそうでした。虹のアーチをくぐって「ふーこ」を探してみてください。



ひまわり組

作品展のテーマが決まり、早速ひまわり組ではどんなものを作るか話し合うと、「ふーこの住んでるところは絶対雲の上だよ!」「ふーこが遊びに行くところを作りたいな」とふーこの世界についてたくさん意見が出ました。遊園地、公園、お店屋さん…色々な意見が出る中、みんなの意見がそろった動物園にしよう! と決まりました。風船をそのまま使うと割れたりしぼんでしまう…と“張り子”を思い付き、去年の経験も生かしながらか職人のように張り子をしていた子どもたち。ひまわり組らしい、雲の上の動物園をどうぞお楽しみに♪

